

新たな男女共同参画プラン策定に向けたアンケート(学生)

【回答者数(年齢別)】※令和4年1月1日現在

10代 : 167人

無回答 : 10人

年齢 ※	Q1.日常生活で、どのような場面で「男だから／女だから」という制約を感じますか。	Q2.Q1.での制約を解消するためには、どのような取組をする必要があると思いますか。
	「女だから」という理由で小さい頃から家事などを手伝っていた。兄弟は「男だから」という理由で免除されていた。	男女関係なく、生活を良くするために、助け合うのが当たり前だという意識を向上させるような情報発信が必要だと思う。
10代	・保育園や小学生のころ、上靴が男子は青、女子は赤と決まっていたこと ・今は少なくなったが、男性が働き、女性が家事をする風潮 ・「女の子だから、おしとやかにしなさい」と子どもの頃に言われたこと	・男女という点で区別をせず、個人の意見を尊重すべき。 ・「～であるべき」などの自分の考えを他人におしつけない。
10代	今のところ感じたことはないです。	これからの社会に出るとき、そのような場面に出くわすかもしれないし、今の生活の中ですでに制約はあるかもしれないです。まずは、男女の差について、いろいろ知ることが大切だと思いました。
10代	・家事をするのは女性で、仕事に行くのは男性 ・プリクラで男性だけの入店は禁止 ・カ仕事は男性	男性も家事をする。
10代	特になし	
10代	・「男が育休をとるのはおかしい」「女だから家事をするのはあたりまえ」「女が管理職に就くのはおかしい」 ・三者面談や学校の行事に参加するのは、女性が多い印象がある。	・国や地方公共団体が制度をととのえる。 ・一人ひとりの意識を変える。 ・CMなどでもっとメッセージを伝える。宣伝する。
10代	・「男だから泣くな」と言われる。 ・「男らしい」「女みたい」といった好みに関する偏見がある。	実際にそのような傾向があったとしても、相手がどう感じるか、分からない以上は言わない。
10代	高校の時、男子だから荷物運びを、女子だからクラスのパネルの作成を、という風潮があった。	自分から率先して、そういった風潮とは逆の役割を引き受ける。
	女性が家事や育児をしなくてはならないという考え方があるとき。自分の家庭でも、母と父はどちらも働いているけど、料理や洗濯など家事は基本的に母がしているため、そのような場面を見ると、女性がしなくてははいけないということに疑問を感じる。	家事や育児は必ずしも女性がしなければならないという固定的な考え方を無くしていくために、声かけなどを積極的に行うべきであると思う。
10代	「女の子はそんな言葉をつかっちゃだめ」と言われること。同じ人間なのに男女で分けられるのはなぜなのかと不思議に思う。	親や先生から幼い時に、男女の違いや、女の子らしさを教えられている人が多いので、小さい頃から男女平等について教えられていれば思想が変わると思う。
10代	・女友達が浪人を考えている事を両親に話したとき、女だからという理由で反対されていたとき。 ・正社員の給料を調べ、男性の方が多い会社がたくさんあったとき。 ・漫画などで、女性が結婚を促されているのを見たとき。	今回のように、学校で講義をしていただくと、自分の無意識な固定観念に気づきやすいので、直接話をされるのが一番良いように感じました。一度気づくと、少しでも固定観念をなくせると思います。
10代	・「男だから荷物もってきて」と体育祭準備で先生が言っていたのを見た時。 ・親戚の集まりでおじさんに「女だから料理運んできて」と言われた時。	・今回のような講義を、若者のみならず、年配の方々にも行い、全世代の共通認識が男女平等となるようにする取組み。 ・ニュースなどで男女平等を掲げたCMを流す。

年齢 ※	Q1.日常生活で、どのような場面で「男だから／女だから」という制約を感じますか。	Q2.Q1.での制約を解消するためには、どのような取組をする必要があると思いますか。
10代	<ul style="list-style-type: none"> ・映画のレディースデーはあるけどメンズデーがない。 ・看護師、保育士、客室乗務員ときくと、女性をイメージする人が多い。 ・政治家は男性が多い。 ・家事は女性がやっているというイメージがまだ少しある。 	男性が多い職業、女性が多い職業のイメージをなくすためには、少人数の方の人が前に立ってイメージをなくしていく。
10代	<ul style="list-style-type: none"> ・女だから、 ・育児や家事にあてる時間が長い ・管理職に就きにくい ・議員になりにくい 制服が男子はズボン、女子はスカートと決まっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・男性も女性も育休や産休をとりやすいようにする。 ・女性の採用枠をつくる。 ・男女兼用の制服をつくる。
10代	<ul style="list-style-type: none"> ・家事はほとんど母と私がしている。 ・日常生活の中で男の人ばかりの職場やその逆の職場があるのを目にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族全員で家事を分担する。 ・男女関係なく自分のしたいことをする。
10代	痴漢現場で女性が「この人痴漢です！」と言った際に、男の方の言い分がちやんと聞かれないこと。	女性車両だけでなく男性車両もつくる。
10代	家事や育児等は女性がやるという固定観念	国民に定期的にアンケートをとることで、意識の移り変わりを認識する。
10代	制約とは少し違うのかもしれないが、男女共同参画を「男に厳しく、女に甘く」と勘違いしている人も中にはいる。「男だから〇〇しろ」「女の子は△△でいいよ」といったようなことがあった。	男女が平等であるということについて、少しでも多くの人の中で共通認識できるような機会を設ける取組をする必要があると思う。
10代	「女の子は勉強よりも愛嬌だよ」と言われた時。	勉学は男性の方が強いと思っている人も多いが、実際は男性脳と女性脳ではそれぞれ異なった強みがあり、女性ももっと多くの研究に参加できるように、このような認識を改めるべき。メディア報道などをすべきだと思う。
10代	<ul style="list-style-type: none"> ・何らかの役職についているのが男性が多い。 ・女性がやっても褒められないことを男性がしたら褒められる(逆もある)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若者だけでなく大人にも力を入れて男女差問題の授業みたいなものをすればよいと思う。 ・目のつくところにポスターや電子公告を載せる。
10代	父の方が家にいる時間が長い日でも、すべての家事を母がしているとき。母に言っても「お父さんはいいの」と言われて違和感を感じました。	時間のある人ができることをやるという意識からかえていく必要がある。
10代	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で先生が男子にのみ荷物運びを頼んでいるとき。 ・制服が男女で分かれていること。 ・親に「女の子だから～しなさい」と言われるとき。 ・女性は化粧をするのが当たり前みたいな雰囲気を感じる時。 ・料理(家事)は女性がするものみたいな雰囲気を感じる時。 	制服をなくす、または男女で分けずに自分の意思で選べるようにする。
10代	家で何か決め事をするとき、父親の方が母親よりも決定権が上にあたりするのを見ると、そのような制約を感じることもある。	お金を稼いでいるからなどのような理由も大きく関わっていると思うので、男の人も女の人も同じように働いて、結婚しても生活できるようにする必要があると思う。
10代	<ul style="list-style-type: none"> ・下宿先を決めたとき、私は女性なので、両親が心配して、女の子だからオートロックが安全、女性が隣に住んでいる部屋がいい、下着はベランダに干さないなど色々言われた。 ・小さいとき、地域のまつりでおみこしに乗るとき、私は女の子だから乗れないことがあった。 ・父が朝食や弁当を作っていると話すと、友達にすごいね！と言われる。 	ジェンダーバイアスについて、若い人だけでなく、大人やお年寄りにも、講演をして広める。
10代	私は広島出身です。広島にいたときは、学校で出席番号が男子のあいうえお順のあとに、女子のあいうえお順と続いていて、何かある度に女子の方が待たされるというのが当たり前だと思っていたけど、神戸に住む友達は男女混合のあいうえお順だったと聞いて、こういう所にもジェンダーがあるのかなと感じました。	ジェンダーをなくす取り組みを行っている市を真似して、男女混合の出席番号にするなどの必要があると思います。

年齢 ※	Q1.日常生活で、どのような場面で「男だから／女だから」という制約を感じますか。	Q2.Q1.での制約を解消するためには、どのような取組をする必要があると思いますか。
10代	<ul style="list-style-type: none"> 部活動のマネージャーは無意識的に女子限定だと思いこんでいる。 男性がメイクをしていると違和感を感じる。女だからメイクをして当然だと思われる。 	女性、男子という区別を可能な限り無くすることが必要であると思う。例えば、Webアンケートで性別を聞く項目を無くしたり、男性にも保育士や看護師、薬剤師などの女性が多い仕事に興味をもてるように、紹介をしていくなどが大切だと思う。また、幼少期から男女の区別を意識させないように、教育方法を変革する必要がある。
10代	<ul style="list-style-type: none"> 新学期、新しく配られる教科書を運ぶとき、「男だから」という理由で運ばされた。 「女だから」短大で充分と大人が言っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 重さ別に男女両方で運ぶことで解消する。 大学に行きやすい環境を整えることで解消する。
	高校生の頃に、夏の体育の授業で、男は外、女は体育館で授業があり、日焼け等を気にするのは女だけではないのになと感じた。	外か中で授業を受けるのを平等に希望を聞いて振り分けるべきと思った。
10代	椅子に座るときの足の姿勢、しゃべり方	男女それぞれに好みや個性があるということを一人ひとりが認識していく。
	性的ギャップを感じる。 <ul style="list-style-type: none"> 男性で看護師や保育士等の仕事をしている人は、力仕事を任せたり、身体的に区別される。 女性で大工や運送業等の仕事をしている人は、事務仕事をよく任せられる、身体的に区別される。 	男女共に共通の理解を得る機会を作る。それぞれに理由があってやっている事を認識する。
10代	家事・育児・仕事 「男らしく生きろ」と言われた時に「男らしくってどんな感じなんだ？」と思うことはよくあります。	現段階で、まだまだ問題が解消されないのは、日本人の根っこの部分が男尊女卑という考えがあるんだと思う。それを変えるのは簡単なことではないと思うので、少しずつ小学校・中学校の義務教育から変えていったらいいのでは。急速に変えようとはしない方がいいと思う。
10代	妊娠や出産の可能性で、特定の職業で就きにくいものがある時。	育児休暇をより取りやすいものにしたり、支援金を出したりする取組。
10代	<ul style="list-style-type: none"> 女性専用車両があるのに、男性専用車両はない。 女性はメイク必須。 制服の女子はスカート、男子はズボン 	子どもへの教育の促進とともに、会社等で男女共同参画社会等の説明会を義務付けるといった、子どもだけでなく常識や固定概念を作っている大人に対しても取組を広げる必要があると思った。
10代	男性だから重い物を持つということ。確かに力の強い人もいるが、男性でもそこまで力の強くない人はいる。	男女平等の意識向上。学校やその他で学べる機会があればいいと思います。
10代	女だから化粧をして、おしゃれをしてキレイにしていけない。	男でも女でも参加できる服や化粧の講座
10代	作法を正しくすること(足を閉じる、正座など)。	親世代の人が「女だから」「男だから」の言葉をやめ、兄妹や姉弟の場合は、二人ともに同じことを伝える。
10代	<ul style="list-style-type: none"> 男で主婦をしていると変だと思われる。 告白は男からが普通。 	<ul style="list-style-type: none"> 男も家庭に入っていいと思う。 自分の気持ちに素直になればいいと思う。
10代	<ul style="list-style-type: none"> トイレを利用する場面 就活のスーツなどの正装 レディファーストなど女性を優先しているとき 	<ul style="list-style-type: none"> トイレは男女共有のものを増やす必要があると思う。 パンツやスカートなど選べるようにする。 平等に接する。
10代	成人式の着物を予約しに行った時、男性用と女性用では女性用の方が圧倒的に多かった。服も女性の方が種類が多いように感じる。	ユニセックスのものを増やす。
10代	<ul style="list-style-type: none"> 映画館などでレディースデイというように女性だけの割引がある。 女性だからメイクをした方がいいという考え方。 ジェンダーレスの方のトイレ。 	<ul style="list-style-type: none"> 女性だけの割引の月があるならば男性だけの割引等をつくるべき。もしくはレディースデイをなくす。 メイクをしないことを利点を広めたりし、男性にもメイクをしないメリットを知ってもらう。メイクをしていなくても、していても平等に接する広い心をもつようにする。 男性トイレも女性トイレも全て個室にする。
10代	私の高校では、昨年度から制服に新しくスラックスが誕生しました。女子でちらほらスラックスの生徒が見られましたが、男子でスカートの生徒はいませんでした。多様化が拡大していっている中で、男性の生き方は女性の生き方よりも多様性があまり感じられません。	男性の多様性が認められるには、女性の社会進出をうながす事が最も近道だと思います。キャリアウーマンが認められる事で、主夫に焦点を当てた政策も進められ、男性の生き方に選択肢が増えると思います。その結果として社会的立場だけでなく、服装や趣味も男女の壁が無くなっていくのではないかと思います。

年齢 ※	Q1.日常生活で、どのような場面で「男だから／女だから」という制約を感じますか。	Q2.Q1.での制約を解消するためには、どのような取組をする必要があると思いますか。
10代	<ul style="list-style-type: none"> ・「女の子に学歴は必要ない、だから大学に行く必要はない」と言われた時 ・「女の子なのだから上品やおしとやかにしろ」と言われた時 ・親にズボンよりスカートやワンピースを強制された時 	<ul style="list-style-type: none"> ・男女の学問における価値観の違いをなくすこと ・男女関係なく多様な服装を認めること
10代	私は普段、女性として生活していて制約を感じたり、女性(母)が働くことや男性(父)が家事をすることを当たり前と感じないことはないですが、このような説明を聞くことで、あらためて制約を認識します。	わざわざ男女の制約を説明するのではなく、男女平等なのが当たり前だと教えていけばよいと思う。
10代	<ul style="list-style-type: none"> ・制服で女子にはスラックスがないこと ・出世は男性の方がしやすいと聞くこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・男女がスラックス、スカートを選べるようにするか、統一する ・男女平等に出世の権利(試験など)を与える
10代	<ul style="list-style-type: none"> ・皿洗いや料理の手伝いをしている時に「花嫁修業」と言われた時 ・女性は化粧をして仕事に行くものだと言われた時 	固定観念は無意識に働いているので、それを変える、なくすことは難しいが、制約になっていないか確認をするよう呼びかけ続けること
10代	私たちの世代では、実際に男女差別を目の当たりにすることは少ないです。逆に、小学校の時からこのような授業を受け、先生方が昔の男尊女卑の考えなどを話していることで、私たちの中にそういった悪い印象が残ってしまっていると感じます。強いて言うなら、家庭での家事の分担についてです。 夫妻共働きの場合に、妻だけが多くの家事を行うということは、男尊女卑の考えから抜け出せていないと思います。夫が外で働き、妻が働いていない、もしくは専業主婦である場合は、妻に多く役割が当たっていても問題ないと思います。	元々、男性が家事を積極的に行わないのは、代々親がそうしていたのを見て育ったことが原因であると思うので、女性の方からも意識的に声掛けをして、2人で共に協力することが大事だと思います。
10代	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での役割分担 ・スポーツ 	男女共同参画に関する教育をもっと行う
10代	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹なので、後継ぎについて聞かれる(男が後を継ぐという固定概念) ・服装、名前などで区別されている ・力仕事は男、事務は女など、小学生のころから役割が決められている 	<ul style="list-style-type: none"> ・講義の中で見せていただいた漫画などを小中高などで講演会で説明すると良いと思う。若い人には、親しみやすい形(SNS、漫画など)によって伝えること ・働き始めると、そのような話を聞く機会も少なくなるので、会社ごとでもそのような催しを開ければよいと思う
10代	女性のみの専用車両がある	男性専用車両もつくる
10代	式典で、女性はヒール・パンプスをはくようにすすめられる	固定概念をなくしていくような活動をする必要がある
10代	家事をする場面	家にいるときはできるだけ自分ができることをするべきだと思う。特に共働きの場合は、協力して家事をする必要があると思います。
10代	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試で女だからという理由で不合格となった ・男の人は理系にいくとよいという感覚 	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会などを通して、一人ひとりの意識を変える取組 ・必ず男女平等になるように法律で義務化する
10代	写真を撮るときに、男女でポーズが異なる場面	ポーズを自由にする
10代	私自身は実感したことはあまりないです。	こういった講演会で実情を知る機会をつくること。そして声を上げ続けることが必要だと考えます。
10代	ある引越業者のバイトで男限定、あるカフェのバイトで女限定と書いてあるとき	女性でも力不足を補えるような発明品(ロボットスーツ)の実装 根本的に求人募集の条件の見直しを求人情報サイトが行うべき
10代	看護師、CAは女性がやる仕事だという考え方	ドラマや映画、広告などで、看護師やCAでも男性が働いているということを世間に知ってもらうことで、今までのイメージをなくすようにする
10代	<ol style="list-style-type: none"> 1.着たい服のサイズが無いような場面 2.親戚との集まりで、小さい子供の面倒をみなくてはならない場面(女子のみが) 3.力の有無を確認する前に、仕事を振り分けられるような場面 4.趣味を心から楽しめない場面(らしくないとされる人がらしくない店に入ったりした時に向けられる奇異の視線などによる) 	<ol style="list-style-type: none"> 1.服飾関係の企業の意識を再確認し、これまでは女性らしい、男性らしいとされたデザインであっても、どの人も着ることができるような服を製作する 2.男子にも女子にも、小さい子供の面倒を見る機会を与える 3.雇用する前に雇い主が、面接等の時点で、労働者の体力を把握する 4.人生の楽しみ方は人それぞれだということを知ること
10代	両親は共働きだけど、母が当たり前のように家事をしていて、父は手伝っているという感覚になっている気がする	もっとしっかり家事での役割分担を決めるべき

年齢 ※	Q1.日常生活で、どのような場面で「男だから／女だから」という制約を感じますか。	Q2.Q1.での制約を解消するためには、どのような取組をする必要があると思いますか。
10代	バイト先で仕事の分担を性別によって決められた時	男女で仕事の分担を決めつけないようにする取組
10代	技術職は男性、接客業は女性がほとんどを占めている気がする	好みの問題を差し引いても、学校等で互いに興味を持てるような活動をすべき
10代	女の子は料理できないとダメや、男の子だからデートでリードしないといけないという概念が一般的にある。女の子は守ってもらう立場だから、か弱くていいという考えが嫌い。	男女に平等であるということは、色々なところで言われていると、そう思っている人も多いと思う。でも、わかっているつもりでも、ふとした場面で、自分も男女差別をしてしまう。だから、もっと家事を男性がしてみたり、食事は割り勘にするなど、一人一人が意識してそれが普及していけば、それが当たり前になっていくのではないかと思う。
10代	・女だから家事をやって当たり前だという考えをもつ人と出会ったとき ・男だからグループのリーダーを任せてしまったとき	男女が協力してより良い生活をするという意識を自然に持ってもらうために、長い時間をかけて男女共同参画社会を説明する
10代	親戚の集まりがあるとき、女性ばかり食事の準備をしたりお酒をくんだりしている	女性はこうあるべき！という考え方をなくし、性別に関係なく協力して家庭や社会で活躍できる場をつくる必要がある
10代	大学に入って学部・学科による男女の比率の差を実感している。誰かに強要されているわけでもないのに、こういった差ができるのは、根底に無意識の差別があるのだと思う。	教育、子どもだけでなく子供の手本となる親世代にも教育をして、意識改革をする必要があると感じる。また、人間だけでなく制度の変化も必要だと思う
10代	・おごる、おごられるの関係 ・文系、理系の男女比の差	・割り勘が金銭的にはベストだが、カッコつけたいときもある。割り勘が恥ずかしくない雰囲気作りが必要。 ・それぞれに興味を持つ機会を増やしていくべき
10代	・学校でお客さんにお茶を出すとき、必ず「若い女性」の教員がやっている ・スーパーのレジをしているのは女性の年配の方が多い	お茶出しは男女関係なく若い人がやるとする
10代	・異性とデートするとき→男性の方がおごるべきだ ・力仕事→男がするべきだ ・電車に乗るときに、女性には女性専用車両があるが、男性には男性専用車両がない	・割り勘にする ・女の人にも仕事はできますか？ ・男性専用車両をつかって、女性が乗る車両と男性が乗る車両を完全分離にするべき→こっちの方が痴漢の被害が減少するはず
10代	祖父母に「女の子だから家事全部できるようにならなきゃね」と言われた時	私の下の時代からでも意識を変えていけるように、男女共同参画社会について学ぶ
10代	・家事をするとき、女だから男よりも積極的に動かないといけないと感じる ・学校の制服	無意識のジェンダーの偏見を自覚し、偏見を取り除く必要があると思う
10代	・男性が化粧やピアスをつけていることに偏見を感じている人がいた。 ・レディースデーはあるのにメンズデーはない。 ・女性がメンズの服を着ても何も言われませんが、男性がレディース服を着るのは違和感がある。	ユニセックスの服を増やしたり、メンズデーをつくる。
10代	親戚の集まりで、食事を出したりするとき、女性に任せがち。	気づかずに無意識に、そういう型で捉えてしまっていることがあると思うので、まずはその見方をしてしまっているということに自身が理解し、少しずつ意識をかえていく必要があると思います。
10代	誰の意見でも関係のないようなアンケートで、用紙に「男性・女性」と記入するところがある。	「男性・女性」の記入をなくす。
10代	力仕事をさせられたりしていたが、自分はそんなに力がないのでしんどい思いをした。	男女別に役割分担をせず、個人一人ひとりで判断して、仕事を分担していけば良いと思う。
10代	自分自身が男性だからという理由で、日常生活において制約があるということを感じないが、社会全体でみると、「政治家は男性がなるべきだ」という風潮がまだ少し根づいているのではないかと考えた。	女性不利な世の中になっていると感じる女性が多いと思うので、女性が積極的に政治にも参加するべきだと考えた。

年齢 ※	Q1.日常生活で、どのような場面で「男だから／女だから」という制約を感じますか。	Q2.Q1.での制約を解消するためには、どのような取組をする必要があると思いますか。
10代	男だから組体操で体操服を脱いでやらなければならなかった。	・やりたい人だけ自主参加する。 ・組体操か別のやつかを選択できるようにする。 ・服を着てでもやれる競技にする。
	高校で入る部会を探していたときに、山岳部に興味があったけれど、部員全員が男性で、山に登らないときは筋トレをすると説明を受けて、入ろうと思っていることを先生に伝えると、女には体力がないから、ついていけるか分からないと言われたときに制約を感じました。	男性や女性、混合の少数のグループをつくって、「団体行動をとること」に視点をおいたりする必要があると思った。
	親戚達で大人数で集まって食事をするとき、男の人がご飯を食べている間でも、女の方は、常に準備、片付けのために動いているという場面。	テレビドラマ等で、男性も日常的に家事をしているという様子を流すことで、人々の中にできてしまっている、女性が家のことをするという固定概念を無くしていくよう工夫をする。
10代	女性は、 ・大人しく穏やかであることが求められることが多い。 ・服装やスタイルに気を遣わなくてはならない。	子育ての際に、偏見や固定概念を教え込まない。色々な経験をさせてあげる。
10代	・日常生活の中では、重たい物など力仕事をする時「男だから」率先すべきだという場面で制約を感じる。 ・授業でも話題に上がったが、家事は女性、外で働くのは男性という考えに制約を感じる。実際に自分の母が専業主婦で父が働くという状況なので、より「男だから、女だから」という考えを強く感じる。 ・政治や医者などの女性が少ない仕事に女性が就いただけで、いちいちメディアに取り上げられるのも違和感がある(それが当たり前になっていない)。	・女性がどの仕事について、どのような選択をしても、それが当たり前になればよい。そのために、具体的な例としては、どの仕事でも
10代	・レディースデー、女性専用サービス ・様々な職種イメージにおける男女の固定観念(「女なのに土木系」「男なのに看護師」など)	男女平等であるという意識を人々がもつ取組。そして、それがすごいことと取り上げられるのではなく、当たり前だという考えが広がる取組。
10代	女の方は足を閉じて座らないといけない。逆に、男の方は足を開いて座るように言われていることもある。	この制約では、全員が足を閉じて座ればよい。
10代	あまり感じない	私自身は、あまりそのような制約を感じないけど、実際に性別を理由とした制約があるなら、罰をつくればよいと思う。学校で授業をするのも効果的だと思う。
10代	「男のくせに泣くな」みないなフレーズを聞いたことがある。女だから料理ができないとだめだみたいな感じがある。	女性の人権を尊重しすぎることなく、お互いにとって住みやすい社会づくりが必要だと思う。女性も働きやすい社会になればいいと思う。
10代	・父親が弟に対し「男だから泣くな」と言う。 ・中学、高校で男子の制服は学ラン、女子はブレザーと全然違う。	・考え方を変えてもらうために家族で話す。 ・好きな制服にできるようにする。
10代	建築系にすすみたいという「女の子なのに？すごいね」とよく言われる	建築=男の人というイメージが強くてついているので、女性でもとれやすい資格や会社をつくるように取り組むべきだと思う
10代	女だから大学まで進まなくてもよいと言われたとき	男女共同参画社会を目指すような教育を進める
10代	電車で女性に脱毛をすすめる広告を見たとき	制約を感じていながらも、意識の中では「きれいにしないと」と思う自分があるので、まずは自分の意識を変えたい
10代	家事・育児、介護に関わっているのは、多くが女性であること	・ワーク・ライフ・バランスの充実 ・固定観念の撤廃 ・男女共同参画社会などの活動の認知を広める
10代	・男性の育休をとる人がまだ少ない場面 ・女性だけ、みだしなみに化粧が強いられる場面	・男性の育休制度を充実させる ・みだしなみの条件を統一させる
10代	高校に女子更衣室があったが、男子更衣室が無かった	ヒトとして、裸を見られることは全人類恥ずかしいということを共通認識にしないといけない

年齢 ※	Q1.日常生活で、どのような場面で「男だから／女だから」という制約を感じますか。	Q2.Q1.での制約を解消するためには、どのような取組をする必要があると思いますか。
10代	女性サイズのくつが合わず、女性は足が小さいものと思われていることに違和感を感じる	男・女ともが使いやすいものを積極的に販売する
10代	「男だからメイクするのは普通でない」という視線と同じくらい、「女だから最低限メイクしないのは非常識」という目線があると思う	社会全体の意識を変えるために、一人一人の意識で自問自答したり、自分の考えをしっかりと固いものにしたしたりして、次世代の男女平等の意識をはぐくんでいくことが大事だと思う。いきなりは変わらないだろうから、根付いてしまった固定的な考えをつなげてしまわないような社会になれば良いと思う。
10代	・育休をとるかからないか ・行動や仕草、喋り方	・男性でも育休が取りやすい環境づくり ・男性らしいや女性らしいという偏見をなくす
10代	・女だから家事をして当然、裁縫ができて当然、育児をして当然 ・男だからしっかりしないといけない、育休とるのはおかしい	・家庭内で夫と妻が家事を分担する ・会社が男性が育休を取りやすい仕組みを作る
10代	男性は青色、女性は赤色など、色で男性・女性を特徴づけている場合があると感じます。例えば、トイレのマークの色やランドセルの色などです。	中・高・大学生など、子どもをまだ持たない年代の人に理解を深めてもらい、「男の子だから」や「女の子だから」といった意識をなくしていく必要があると思いました。
10代	「女の子は結婚して家庭につくからあまり勉強しなくていい」と言われた時	女性が家庭についている家は実際問題としてとても多い。男性に家事等についての意識を促すことも大事だ考えるが、現在の状況をふまえて、家事代行を地方公共団体がPRしたり、女性向けの奨学金が普及される必要があると思う。
10代	男だから泣くななどの固定観念	個人が持つジェンダーバイアスを撤廃していく必要があり、幼い頃からのジェンダー関連の教育を行い、男尊女卑と呼ばれる現状の社会を変えていく必要がある
10代	・弟や世間の女の子たちと比べられるとき ・女の子なんだから可愛い色の方を好んで着てほしいとも	一人一人の考え方を考えるしかないのかなと思います。女だから～、男だから～っていうのは、一定の年代の方に染みついていてのものだと感じる人が多いからです。時代の流れに任せるべきなのか…
10代	女だから家事をする、男だから仕事へ行くという考えがまだあると思う	男性とも女性とも家事・仕事をするという考えを広める活動をする
10代	工場の雇用募集広告で「男性歓迎」みたいな台詞を見たときに疑問を感じた	雇用担当や会社の人事担当だけでなく、会社全体での意識改革が必要。若い層の人事担当も必要だとおもう。
10代	「男なんだからしっかりしなさい」などと周りから言われる	「考え方を改めましょう」と呼びかけるだけでなく、制度や法律をかえていくことで、強制的に男女平等を意識させる
10代	・荷物を持つように言われる ・女性専用車両がある	・楽に運ぶためのカートを貸し出す ・終日の車両を減らす
10代	お弁当作りは母親が家族のものをつくる	父親も母親と同じくらいの家事をするべきだという認知を広げるような取組
10代	・政治界で女性が出産した時 ・「女性だから」という理由で家事(料理・裁縫)ができないといけなると言われた時	・女性も政治に参加しやすくなるよう女性の選挙権を有効活用 ・教育による意識改革
10代	男だから泣くな、男だからいっぱいご飯を食べろといわれることがあった。職業に関しても感じることもあった。	男、女を区別するような考え方をとらないように心がける。意図的に考えを変えようと思えないと思う。
10代	成人式でかかる費用が女の人のの方が高い	ふりそでをきるのを、みんなで作める

年齢 ※	Q1.日常生活で、どのような場面で「男だから／女だから」という制約を感じますか。	Q2.Q1.での制約を解消するためには、どのような取組をする必要があると思いますか。
10代	兄弟の中で唯一の女の子だから、家の事や接待を任される	考え方を直さないといけないと思うので、啓発活動などをする必要があると思う
10代	家事や育児は女性がするべきであるという固定観念	相手とよく話し合い、お互いが納得できる働き方や家事・育児のやり方を決める
10代	服です。 私は女モノの服の見た目の華やかさや、着こなしにとても魅了されますが、街中で着ることは周りから白い目で見られるため、男だからこんな服を着ろっていう制約を心よく思いません	実際に女モノの服を着たい男性はいると思うので、何を着てもいいという雰囲気を作る
10代	女性は男性に比べてプライバシーがより守られている(女性専用～など)	男性専用を用意したり、時間別に区切って専用にしたりして不平等をなくす
10代	高校生の頃、女子の下校時間が男子より早く、部活や勉強の時間が制限されていた	下校時間を決めず、個人が好きな時間で下校できるルールに代える必要がある
10代	・ランドセルの売り場を見た際、男の子のところには黒や青が多く、女の子のところにはあまりそういう色がなかった ・父が家事をしていて、家に来ていた人に「男のひとなのにすごい」と言われていたとき ・「イクメン」という言葉を使っている人がいるとき	・男の子だからこの色、女の子だからこの色、という風に決めてしまわず、どの売り場にもいろんな色を置いたらよと思う ・男の人が家事をすることはまれなことではないということを周りに知ってもらう ・女の人が育児をするのが当たり前だと思わず、男性も積極的に参加させる
10代	・サラリーマンのマンや語尾などに神経質になっている時 ・男性優遇と言われているが、洋服店などでも女性用が多く、女性だけが被害者感を出している人を見た時	男女共同参画や男女平等にこだわりすぎない 男女には個人差はあるが、そもそも生物学的な違いがあるので、神経質にならない
10代	男は力があるという考えのために、荷物を持たされる	筋力は人によることを意識する
10代	男性であるから、という点で生きづらさを感じたことはないが、女性にはそういう悩みがあるのが今の社会の現実だと思う。我々男性には気づいてあげていない点が多いのが問題だと感じる	・日頃から女性の事を考え生活する ・ジェンダー平等の意識を高くする
10代	・必ず結婚しろと言われたとき ・「女やから家事できないとダメ」 ・背が高いので「女は低い方がいい」と言われた	いなかの、60代以上に多いので、そういう人が多い会社で講演すべき
	バイトの種類	採用条件に男女は入れない
10代	・メイクをしていないと、女の子にしては珍しいという感じがある ・看護婦と保育士は女性の仕事(看護師という名称にしてもやはり、女性のイメージがつきまとう) ・あぐらかいたり、おしとやかにしていないといけない(女の子は) ・男性は女性をエスコートしなくてははいけないと思っていること	小さい子どもの時から、男らしく・女らしくという先入観を抱かせないような育て方をする
10代	電車で女性専用者はあるが、男性専用車はない 女性は守られるべきという意識は見えるが、男性に対する配慮はない	平等に男性専用車両の制度を作るか、逆に女性専用車両の制度をなくす。そもそも、何故そのような配慮が必要なのかを考えて、その問題の原因を解決するか、問題を選ける方法を考える
10代	・家事、育児の場面 ・生徒会長などの団体の代表を選出する場面 ・ファッションなど服装に関する場面 ・趣味や好み、特技などを表現する場面	それぞれが持っている先入観をより少なくする そのために、自らインターネットを使って、男女共同参画について調べたり、講演会などに参加して自分の知識を深めていく
10代	・家庭のことを女性ばかりがしているとき ・荷物を運ぶときに男性ばかりが運んでいるとき ・文系と理系に分かれるときに、何となく文系は女子が多く、理系は男子が多いこと	・「男性」とか「女性」という2種類の性別に分けないこと ・「男性やから～、女性やから～」という言動を避けて、一人の人間として関わっていく
10代	家庭内での仕事では、女だからすべきだという考えがいまだに残っていると思う。	各家庭で、夫がすることと、妻がすることをそれぞれ決めた上で結婚とかをすべきだと思う。

年齢 ※	Q1.日常生活で、どのような場面で「男だから／女だから」という制約を感じますか。	Q2.Q1.での制約を解消するためには、どのような取組をする必要があると思いますか。
10代	4月から大学に入り、やはり男子は男子でグループができ、女子のグループができていたことが、最近が一番身近に感じた。その他にも、男女の議員の比率や家事の割合などで固定的男女意識が生まれてしまうのではないかと考える	Q1での男女の議員比率は、そもそもの母数が違うので、当選率で見る必要があると思う。若い人の方がジェンダー平等の意識が強いのので、積極的に発信していくべきだ。
10代	スーパーや飲食店のトイレの清掃員で、看板や声掛けはあるものの平然と入って来る場面	男の清掃員をふやすか、もっとしっかり中に人がいないか確認してから清掃してもらう。また、日頃からよごさないように心がける
10代	・女性だからメイクをするのは当たり前という風潮 ・女性の就職の面接時はスカート(というか女性はスカート)	CMや広告から変える必要があると思う。広告がメイクやスカートは女性がモデルのことがほとんどで、この広告を幼い頃から見ていると、自然とジェンダーバイアスは生まれてしまうと思う
10代	男の人が少し悪ふざけとかしても笑われるだけだけど、女の人が同じことをしたら、ドン引きされたり、下品だという扱いになってしまう(TVの芸人さんとかをみても)	女とか男とかの区別をつけない教育を幼いうちから行う。また、過度に女・男の言葉に反応しないようにする(もともと差別意識を持っていなかったのに、かえって差別意識が生まれる)
10代	多くの服屋で、女性用と男性用の売り場が分かれていることがあり、ボーイッシュな服を着る女性が売り場に入りにくいということがあった。また、男性でも女性の服を着たいことがあると思うから、逆があってもいいと思う	・男性も女性も、自分の好きな服が着れるようにするために、売り場を大きく分けないようにする ・男性・女性の店員、どちらもいる店だと入りやすくなると思う
10代	・服装 ・友人たちとの付き合い	なぜそのような意識に至るようになったかを調べ、そこから対策を取り始めるべきだと思う
10代	食品工場の手作業の担当は、女性の人が多いと感じた	女性の方が仕事が丁寧というイメージを減らして、女性でも男性でも同じようなイメージをもてるようにする
10代	・外出する際に、女性はメイクをしなければいけない(特に社会人) ・制服: 男はズボン、女はスカートが基本であること	対策案を出しても、最終的に個人の意識が変わらなければならないため、すこしでも意識する人が増えるように世の中にSNSやメディア等で発信する必要があると思う
10代	新聞等に女性の日本での政治参加は少ないという記事があったりするのを見ると感じる	若い世代の私たちには、男尊女卑という考えはないので、私たちがもっと選挙に行って、女性を政治に参加させるというようなことを公約にしている人に投票する
10代	学校の制服が女子はスカートしか選べないことが多いのが不便です。夏はスカートが良いですが、冬は寒いのでパンツスタイルも選べるようになったらいいなと思いました	男女別になんとか伝統で続けている型をとりはらう必要があると思います。私の地域の公立校は特にセーラーと学ランが多いですが、上記のような制度はプレザーに変更した方が取り入れやすいと思います
10代	座り方(改まった場での) 男性はあぐら、女性は正座など	全員座り方を統一したら良いと思います
10代	・母親に「女の子だから」と家事を自分にだけ教えられたときは感じた ・部活動のマネージャーに、女限定というイメージがある	子どもに教育として正しく教えていく。子どもに教えれば、その親の価値観が変わるきっかけにもなると思う。意識は簡単には変わるものでもないと思うので、焦らず正しいことをちゃんと教えていくことが制約を解消する近道だと思う。
10代	政治において女性の議員が少ない	古くからのこり固まった偏見を捨てて、男性も女性も平等に参画できるように、国が制度を定めるべきだと思う
10代	「家事・育児は女性の仕事」ということを聞くととき	・女性だけでなく、男性も育児休暇を取りやすい雰囲気づくり、システムづくりをする ・社会全体の意識を変える
10代	幼稚園の頃、「女の子はお菓子作り、男の子は外でボール遊びをしましょう」と言われたことがあった	男女の役割平等を教育を通じて広める
10代	学校生活等でも女の子なのに理系なのとか、反対に男の子なのに文系という話もきくし、日常生活においても女の子だから料理できないとかいう無言の圧を感じる	固定的な考え方にとらわれないような柔軟な考え方。また、ほかの人の考えを取り入れるような聞く耳をもつように、いろんなメディアで取り上げたり、目に触れる機会を増やす取組

年齢 ※	Q1.日常生活で、どのような場面で「男だから／女だから」という制約を感じますか。	Q2.Q1.での制約を解消するためには、どのような取組をする必要があると思いますか。
10代	男は働きに行き、女は家で子どもの世話をするという考え方	・女の人でも男の人でも、育休を取りやすくする ・女の人が子育てのために会社をやめても復帰しやすい環境をつくる
10代	「看護婦」という呼び方があるように、男性の看護師というのはほとんど見ない	政府や教育機関で積極的な呼びかけを行う
10代	「レディ・ファースト」という言葉を聞くと	親切心であっても、男女の差をなくすべし そのために無意識に持っているせいに関する固定観念に気づかなければいけないと思う。外科医＝男性など
10代	・学校で重い資料を教室に運ぶ際に、男子だけが招集されていたことがあった ・デザインを考えるとときに女性に任せることが多かった	生物学的には男女の身体・精神に違いはあるが、人それぞれ得意・不得意があるので、人によって判断すべきである
10代	・男はしっかりしなければいけない(金銭面が特に) ・女は家事をするのが当たり前 ・男がおごる ・女は仕事をやめる(M字カーブ)	男性が有利とされている中で、地位(?)を落とされる男性側を納得させることがそもそも、なぜこの活動やその結果が必要なのかを明確にした上で、皆を納得させることが必要
	・男性と女性とで給料の額が違う ・女性議員が少ない	・男性・女性という性差を考えず、平等な給料の額にすべきだと思う ・議員の中に女性がいることによるメリットをもっとアピールすべきだと思う
10代	・制服のスラックス ・女性専用車両 ・女性トイレにしかチャイルドシートがない(オムツ替え) ・女は短大か専門学校、男は大学か就職	・無意識のうちに男女で分ける考え方ができているため、多くの人の目につく交通機関にポスターを貼る ・年齢的にも高い方がこの考え方に根をもっているため、メディアを活用 ・家族であっても傷つく→お互いの気持ちを考える、その人の立場に立つ
10代	家事ができない、あるいは雑な男性を見ることがある	子どもに男女関係なく家事を経験させる
10代	親の職場で、女性は私服、男性はスーツを着用するルールになっている	スーツは苦しいという意見は職場でよくあると思うので、私服に統一するように、男女両方で決める必要があると思う
	女だからおしとやかにしないといけない、男だから強くないといけないと大人から言われるとき	女でも男でも多種多様な性格の人がいることをより多くの人が理解できるように、学校や会社等で講義をしたり、YouTubeに動画をあげたりする
10代	夫婦間で話し合い、役割分担しているとき以外での、女性が家事をするのが当たり前という場面	ポスターなどで啓発運動をする
10代	国会などでは、男性の政治家の方が多いので、選挙でよく知らない中で男性に票を入れている人が多いのかと感じた	男女で差を見るのではなく、その人自身を見て票を入れることが大切だと思った
10代	・祭りの際に、女だからみこしなどに触るなと言われてしまったとき ・手伝いをしようと思った時に、「女の子はいいよ、これは男がするから」と言われて、不思議な気持ちになった	性別関係なく、一人の人間として向き合っていく社会になってほしい
10代	家で、女の子なんだから家の手伝いをしなさいと言われることがある	みんなで家の手伝いをする

年齢 ※	Q1.日常生活で、どのような場面で「男だから／女だから」という制約を感じますか。	Q2.Q1.での制約を解消するためには、どのような取組をする必要があると思いますか。
10代	<ul style="list-style-type: none"> ・共働きだが、父が忙しくて家事を手伝えない ・大学院に行きたいことを伝えたら「女の子だし…」と少ししづられた 	<ul style="list-style-type: none"> ・育休を増やす、男性が取りやすい雰囲気をつくる ・小さい子供がいる男性の有給を増やす ・大学院に行っている女性のキャリアをもっとアピールする
10代	お母さんがほとんどの家事をしているとき	男性側が家事はやってもらうのをあたりまえだと思わないように、男性側も仕事と家事を両立しやすい環境をつくる
10代	女の人は家事をしなければいけないという時	男女が家事を協力してできるようにするための取組
10代	年齢が高い方とお話するとき	テレビ等でも発言の仕方に気をつける
10代	<ul style="list-style-type: none"> ・家の家事をするのは女だから当たり前だと言われたとき ・女の子なんだから大人しくしなさいと言われたとき 	家事は男の人もするのが当たり前だという意識をもつべき
10代	家事や育児は女性がするという感覚が根強く残っていると感じる	男性の育児休暇の推進
10代	<ul style="list-style-type: none"> ・女性専用車両 ・メイクするか、しないか 	若い世代には、思っているよりも男女差別の意識はないと思います。特に、50代以上(?)は男だから～、女だから～の考えが強いと思うので、そういった人を対象に講演をしていけば良いと思います。
10代	<ul style="list-style-type: none"> ・男は働き、女は家事をするという昔のしきたり ・配達の時、男だから重い荷物を運ばされるという話を聞いたとき ・制服で、男はズボン、女はスカート ・男が化粧をしていると引かれる 	無意識でジェンダー差別をしていることが多いと思うので、小さいころからの教育で、もう少し改善されると思う。
10代	男は働き、女は家事をするということが当たり前になっている気がします ・女性(男性)の方がつきやすい職業があったりする	<ul style="list-style-type: none"> ・女性でも気軽に働ける社会をつくる ・一人一人がジェンダーに関する正しい知識をもち、日常的に意識していく
10代	<ul style="list-style-type: none"> ・大学や就職先など、将来のことを考えるときに、過去の男女比によって職業の幅がせばまったりするとき ・体育の時間などで決められた運動量の違い 	義務教育や高校のときから「男だから／女だから」という考え方の授業を行う
10代	「男子の制服はズボン、女子の制服はスカート」という決まり	男も女もズボンかスカートかを選べるようにするか、男も女も同じ制服にする
10代	制服がスカート 女の子の方が身だしなみを厳しく確認される	ズボンも選べるようにする 男の人も身だしなみに注意する
10代	習い事や学ぶ事に対して	それぞれ偏見がある場所で活躍されている女性や男性がやっていることについて講義などをする
10代	<ul style="list-style-type: none"> ・親戚の人や家族に「女の子なんだから〇〇しなさい」と言われるとき ・正月やお盆等で、男性は席に座って話してるだけなのに、女性(お母さんや祖母)はお客さん用のご飯を準備したり、お供え物を作ったりなど、女性が家事や家のことをしないとイケないとき 	周りの制度や名称から変えていく必要があると思う。例えば、「母子手帳」から「親子健康手帳」に名称が変わったように、男性も女性も一緒だとわかるようにしていくべきだと思う。
10代	中学・高校の制服の違い	スカート・ズボンを選択できるようにする
10代	<ul style="list-style-type: none"> ・女性専用車両 ・会社で立場が上の人や、学校の校長・学長は男性が多い 	女性専用車両だけでなく、男性専用車両をつくる
10代	男だから理系、女だから文系	性別で決めるのではなく、自分の将来したいことが理系なのか文系なのかを考えて決めるということ話す必要がある

年齢 ※	Q1.日常生活で、どのような場面で「男だから／女だから」という制約を感じますか。	Q2.Q1.での制約を解消するためには、どのような取組をする必要があると思いますか。
10代	<ul style="list-style-type: none"> ・政治: 男性議員が多い ・女性秘書が多い ・子育て 	<ul style="list-style-type: none"> ・男性／女性意識のない社会を当たり前にする ・目にする機会を増やす
10代	年配の方が年上の方と話すときに「将来、お嫁さんに行く」という言い方をされる。こういった場面で、女性が嫁ぎに行く、子どもを産んで家庭に入るという決めつけをされている感じがする	女性が働くときに、それを当たり前を受け入れて、女性の出産や育児を職場や地域がサポートして、生活や就労に負荷がないようにする
10代	<ul style="list-style-type: none"> ・体育祭などの応援団長は男子でなければいけなかった場面 ・学校給食でおかわりをするとき 	<ul style="list-style-type: none"> ・規則を変える ・一人一人が固定概念をなくす
10代	下宿先を探すときに、「女の子なんだから、1階はやめときなさい」と言われた場面	防犯対策をすべてのところで実施する
	女だから家事を手伝うように言われたとき	家庭のことは女性がするという意識をなくすために、家事は男女で分担するべきだと思う。
10代	女性は結婚していないと可哀想だと思われやすい	働く女性の紹介を増やす
10代	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校や高校の制服で、男はズボン、女はスカートがほとんど ・女性専用車両はあるけど、男性専用車両はない ・「女の子はおしとやかに」「男のくせに泣くな」 	まずは「すべての人が暮らしやすい社会」というものを一人一人が意識することから始まると思います。
10代	<ul style="list-style-type: none"> ・祖父母と一緒にいるとき、祖母が家事をすべてやって、祖父がテレビを見ているとき ・病院で予防接種をするとき、毎回男性のお医者さんのとき 	固定観念をうえつけけないために、小さい子どもがよく見るアニメやドラマ、マンガに女性の医師や男性の主夫を登場させる